講義名	社会問題論					授業形態	
担当教員	水野　英莉	開講期・曜日・時限	後期 木曜日 ２時限				
		単位数	2	履修開始年次	２年生	ナンバリング・コード	S0C265

主題と概要

・現代日本社会にどのような問題があるのか、その問題の背景は何か、そしてその改善や解決の方策はどのようなものがあるか知り理解する。
・社会学的なものの考え方を身につけ、自分の生活・人生にどう生かせるか考える力を身につける。

到達目標

(1)現代日本にどのような社会問題があるのかを知っている。

(2)問題の社会的・歴史的・文化的・経済的背景を理解し、社会学的な視点によって把握することができる。

(3)社会問題の中にある支配関係や人間の苦しみを無視せず、よりよい社会、人間関係、人生について考えることができる。

提出課題

・講義時に課題が出されます。欠かさず提出する必要があります。
・グループでのワークやディスカッションの成果を提出する必要があります。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

提出したコメントや質問に、教員からフィードバックします。

評価の基準

講義内の課題：40%
中間テストと期末テスト：60%　（期末テストは講義回15回目に実施する。受験しない者は放棄扱いとなり単位認定されない）

教務の規定通り講義回の1/3を超える欠席は失格になります。遅刻は30分以内、それ以降は欠席扱いです。遅刻は3回で1回の遅刻になります。

講義で課される課題やレポートは、他の人にコピーさせてもらったり、他の人にコピーさせたりすると、単位不認定となりますので注意してください。

履修にあたっての注意・助言他

教科書を使用しますので、講義回の2回目までに必ず準備してください。
社会学の知識が必要になりますので、社会学基礎の履修を強く推奨します。
講義のさまたげになる行為をしている場合（講義に関係のない携帯操作、私語、勝手な入退室など）は、一時退室を求められます。

教科書

.社会学ドリル―この理不尽な世界の片隅で.	中村英代	新曜社	1900	9784788515161

参考図書

.なし.				

その他

講義の方法
①毎回、次回講義に関連するキーワードについて簡単な予習課題を出しますので、予習を済ませ、講義に出席します。
②講義内では、毎回教科書を使い、講義を進めます。教科書に書き込む、あるいは講義ノートを作りながら、受講します。
③各自、あるいは少人数のグループで、課題に取り組みます。課題を作成し提出します。
④講義の最後に、ポートフォリオ（初回講義で説明します）を作成し、自己評価します。

授業計画

１　オリエンテーションとイントロダクション（第1章 社会学を学ぶ意義）
２　（第10章 自殺）
３　（第2章 格差と貧困）
４　（第8章 権力）
５　中間テスト
６　（第3章 恋愛と結婚）
７　（第4章 ジェンダー）
８　（第5章 関係性と暴力）
９　（第6章 摂食障害とからだ）
１０　中間テスト
１１　（第11章 医療）
１２　（第7章 依存症の世界）
１３　（第12章 精神主義と心理療法）
１４　まとめとふりかえり
１５　期末試験

受講生の理解度と関心に応じて柔軟に対応するので、計画通りにはならないことがあります。

予習と復習について
１　予習：事前にキーワードについて調べておく（１２０分）
　復習：講義内容を振り返る（１２０分）
２　予習：事前にキーワードについて調べておく（１２０分）
　復習：講義内容を振り返る（１２０分）
３　予習：事前にキーワードについて調べておく（１２０分）
　復習：講義内容を振り返る（１２０分）
４　予習：事前にキーワードについて調べておく（１２０分）
　復習：講義内容を振り返る（１２０分）
５　予習：事前にキーワードについて調べておく（１２０分）
　復習：講義内容を振り返る（１２０分）
６　予習：事前にキーワードについて調べておく（１２０分）
　復習：講義内容を振り返る（１２０分）
７　予習：事前にキーワードについて調べておく（１２０分）
　復習：講義内容を振り返る（１２０分）
８　予習：事前にキーワードについて調べておく（１２０分）
　復習：講義内容を振り返る（１２０分）
９　予習：事前にキーワードについて調べておく（１２０分）
　復習：講義内容を振り返る（１２０分）
１０予習：事前にキーワードについて調べておく（１２０分）
　復習：講義内容を振り返る（１２０分）
１１予習：事前にキーワードについて調べておく（１２０分）
　復習：講義内容を振り返る（１２０分）
１２予習：事前にキーワードについて調べておく（１２０分）
　復習：講義内容を振り返る（１２０分）
１３予習：事前にキーワードについて調べておく（１２０分）
　復習：講義内容を振り返る（１２０分）
１４予習：事前にキーワードについて調べておく（１２０分）
　復習：講義内容を振り返る（１２０分）
１５予習：事前にキーワードについて調べておく（１２０分）
　復習：講義全体の内容を振り返る（１２０分）

授業形態（アクティブ・ラーニング）

	ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
○	ウ：ディスカッション、ディベート	○	エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（ＡＬ型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

この科目では、社会問題を生じさせる社会の仕組みや働きを解き明かし、そのあり方を根本的に問い直し、そのために必要な専門的な知識を修得し、理解することができるようになる。よりよい人間社会の創造のためには、社会を知り、多様な人が協調して、公平な暮らしを実現することが不可欠となる。
社会の問題や人びとの考え方を捉えることができるようになる部分に貢献することができる。弱い立場におかれる人に寄り添うこと、弱い立場があるという理解は、より良い社会を実現し、新しい社会、文化の創造には欠かせない点である。
講義内で種々の統計資料を見てそこから読み取る能力や、ディスカッションを通じて聞き取り・表現の能力を養う。社会学的な調査研究の方法の理解、およびコミュニケーション能力を身につけることで、社会生活、日常生活に実践的に活用することができる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

LMS(学習管理システム）を使ってコメント、質問を提出。

初回講義からLMSが使えるように、大学メールアドレスとパスワードをあらかじめ用意し、すみやかに準備すること。

実務経験の有無及び活用

なし

備考